### CONTENTS

### イメージング時代の

# 構造生命科学

細胞の動態、膜のないオルガネラ、 分子の構造変化をトランススケールに観る

はじめに一構造生物学から構造生命科学, そして構造イメージング時代の トランススケール計測へ 田中啓二, 若槻壮市

### 第1章 近年の技術革新と解かれた構造

概論 近年の技術革新と解かれた構造		12 (678)
1. クライオ電顕によってとらえられた P4-ATPase フリッパ 輸送サイクル 平泉料		19 (685)
2. クライオ電子顕微鏡によるクロマチンダイナミクス研究 	<b>效,胡桃坂仁志</b>	26 (692)
3. ミトコンドリアタンパク質搬入ゲート TOM 複合体 一クライオ電子顕微鏡による立体構造の解明荒磯裕平	区,遠藤斗志也	31 (697)
4. クライオ電子線トモグラフィーの現状と将来	福田善之	35 (701)
5. 高速 AFM の技術革新と注目の成果	安藤敏夫	41 (707)
6. X線結晶構造解析   一技術革新	<b>悠介,千田俊哉</b>	48 (714)
7. X線結晶構造解析 一自然免疫受容体 TLR7 ファミリー活性化機構の新局面	清水敏之	52 (718)

8.	X線結晶構造解析 一生物のエネルギー代謝酵素の分子進化			樋□	芳棲	∯ 56	5 (722)
9.	<b>1分子チップ</b> 一膜タンパク質のデジタルバイオ分析			·· 渡遙	是力也	4 60	(726)
10.	LC-MS を基盤とする RNA の構造解析システム 一転写後修飾の総合的理解に向けて田岡万悟、手塚真由、	延	優子,	礒辺	2俊明	] 66	5 (732)
第2	章 構造生命科学からトランススケール よる細胞動態学へ	, •	イン	<b>۷</b> —	・ジ	ング	<u>"[</u> [
概語	🗎 in cell構造生命科学による細胞動態解明へ			蔡	慧珰	<del>ì</del> 76	6 (742)
Ι.	・ トランススケールな解析が待たれる生命科	学	の未	解	决訓	果題	
1.	<b>柔らかい構造の可視化</b> — LLPS と膜動態を例に	·能代	大輔,	野田	展生	<u> </u>	(750)
2.	タンパク質のマルチバレント相互作用が駆動する液-	-液	目分离	推			
	安田さや香,	田中	啓二,	佐伯	录	€ 90	(756)
3.	RNA を含む非膜構造体の内部微細構造観察と天然変物					- 96	5 (762)
4.	CRISPR-Cas9 による DNA 切断の分子機構			西增	弘志	ž 103	(769)
5.	初期分泌経路における新たなタンパク質品質管理機構 一亜鉛イオンとERp44の協奏 天貝佑太,	-	聡,	稲葉	きまし きょうしゅう こうしゅう こうしゅう こうしゅ しゅうし ままれる ままれる はいし はい はい しゅう	ζ 109	(775)
6.	抗体フラグメントを用いた GPCR 構造生命研究	·岩田	想,	浅田	秀基	ţ 117	(783)
7.	さまざまな役割をもつヒトV-ATPaseの理解に向けて		h			_	
		·村田	武士,	鈴木	<b>、花</b> 里	∲ 124	(790)
8.	<b>細胞骨格が制御する細胞内の営みをトランススケール</b>		亮,	今幅	<b>新聞</b>	ij 131	(797)

# CONTENTS

9. クライオ電子顕微鏡による細胞生物学に必要なもの 吉川雅	英 139 (805)
10. 細胞間コミュニケーションのトランススケールな理解   一シナプス形成を例に 深井周	也 144 (810)
Ⅱ. トランススケールな解析を実現するための技術的課題	
11. "原子分解能" (オングストローム) をめざした光学イメージング	志 151 (817)
<b>12. NMR と計算科学の融合による in-cell 構造生物学</b>	治 158 (824)
<b>13. 分子・細胞・組織・器官をつなぐ多細胞ネットワークの研究戦略</b> 	行 164 (830)
第3章 構造生命科学の世界動向	
概論構造生命科学を支える大型研究施設の世界動向を表現して、若槻壮	市 169 (835)
<b>1. 日本における構造生命科学の動向</b> 神田大	輔 174 (840)
<b>2. 米国の構造生命科学</b> 古川浩	康 181 (847)
3. 中国の構造生物学の躍進と基盤施設の現状	之 187 (853)
4. 欧州大型研究施設における統合生物学研究Leonard M.G. Chav	as 192 (858)
5. 欧州における放射光施設と構造生物学データベースの動向 ·······中根崇	智 197 (863)
<b>6. 世界における構造生物学のソフトウェア開発の動向</b> ************************************	亮 200 (866)
第4章 活用可能なデータベースとプラットフォーム	

# 実験医学増刊

放射光・XFELでのタンパク質結晶構造解析のすすめ							
	山本雅貴,	平田邦生	212 (878)				
3. 高速 AFM を使いたいと思ったら		古寺哲幸	218 (884)				
4. 生体高分子の構造データ検索と解析ならPDBj		栗栖源嗣	224 (890)				
5. 対象タンパク質を理解するための有用なデータベー	ース						
	…長尾知生子,	水口賢司	231 (897)				
おわりに一構造生命科学の発展と将来展望		田中啓二	236 (902)				

## 

#### 表紙イメージ解説 -







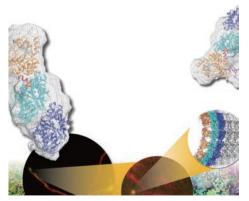
◆SpCas9の高速AFM解析

詳細は第2章-4参照.



#### ◆マイコプラズマの細胞質の大規模 分子動力学シミュレーション

詳細は第2章-12参照.



#### ◆トランススケールな構造解析例

CRMP2の微小管ダイナミクス制御による軸索伸長の分子機構に迫る.詳細は第2章-8参照.